

曹洞宗

群馬県宗務所 第13教区報

第10号

令和4年1月1日発行

大般若経修復完了

イタリア普伝寺寄贈プロジェクトである大般若経が、昨年9月に修復が完了し納品されました。多くの方のご協力に厚く感謝申し上げます。ご報告と今後の予定を3ページに記載しています。

絶え間ない努力は必ず実る

曹洞宗群馬県宗務所第13教区長

永隣寺住職 堀口元澄

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

令和3年も新型コロナに振り回された1年でした。『微笑会』『寺院に親しむ講座』などの13教区独自の活動が2年続けて実施できず、とても残念に思いました。

コロナ禍の昨夏、賛否両論ある中、1年遅れで東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。真剣に競い合うアスリート達の姿からは多くの感動と勇気をもたらすことができました。ご存じの方も多いと思いますが、オリンピックの女子マウンテンバイク競技に日本人としてはただ一人、富岡市出身の今井美穂選手が出場しました。学生時代は陸上競技を続け、現在前橋市の小学校に教諭として勤めていますが、自転車競技を始めたのは学校の先生になってからという異色の選手です。

子どもの頃からオリンピックに出るという夢を持ち続け、毎日勤務校まで自転車で通勤し、夜や休日にトレーニングを重ねたそうです。

お釈迦様の教えの中に、『小水の常に流れて則ち能く石を穿つが如し』という言葉があります。たとえわずかな水の流れでも、絶え間なく流れ続けていれば、いつしか固い石にも穴をあけるという意味です。今井さんは、決して恵まれた競技環境ではなくても、人一倍の努力によって見事に夢をかなえることができました。『絶え間ない努力は必ず実る』ということ、学校の子ども達をはじめ、多くの人に教えてくれました。

コロナ禍の中であっても、子ども達には夢をもって充実した毎日を過ごしてほしいと思います。みんなの努力でコロナ禍は必ず終息すると信じ、一人ひとりができること・やるべきことを絶え間なく続けてまいりましょう。



伊豆の難コースを疾走する今井美穂選手

ヨーロッパ通信

曹洞宗ヨーロッパ国際布教
総監部総監

峯岸正典

欧州全体で現在387名の曹洞宗僧侶が活動しています。うち日本人は私を含めて4名です。コロナ禍という状況の中で、ユーチューブを使った法話も始め、二日間にわたる現職研修会はオンラインで日本、北米、欧州をつなぎました。

また5週連続でフランス、イタリア、オランダ、スイスの各寺院で、大切な修行等を見届けることもありました。国際布教師を勤められた堀口智玄さんのお名前も随所で耳にします。

その智玄さんが滞在していた、イタリア普伝寺に6月、11月とお伺いしました。13教区で推進している大般若經典奉納が、いつも話題になります。

気候危機への警戒が欧州では殊のほか強く、宗教界でも様々な挑戦が行われています。バチカンでも、COP26に向けた会合が開かれ、意見を交換する機会がありました。お伝えしたことは「毎日の生活のなかで一人ひとりが省エネルギーの生活を実践できれば世界は変わりうる」ということです。仏教には「すべてのものは変わりうる（諸行無常）」、「すべてのものは関係しあって存立している（諸法無我）」という受け止めがあり、《一つひとつの行為が世界全体に響いていく》という仏法のありがたさに改めて感銘を受けた次第です。



バチカン使徒宮殿にて開かれた
『信仰と科学—COP26に向けて』でのスピーチの様子



フランス 観照寺での晋山結制（新住職就任の式） 沢山僧侶がいますが、前列黄色の衣が峯岸正典老師になります

前年度13教区各寺恒規法要勤修報告

（毎年定例の先祖供養または祈祷法要）

コロナ禍により各寺院規模縮小にて執り行われました。

2月3日（福厳寺） 3月15日（陽雲寺） 3月17日（延命寺） 3月25日（長学寺） 4月1日（向陽寺）
4月10日（最興寺） 4月16日（光厳寺） 4月22日（長楽寺） 4月23日（永隣寺）
4月29日（宝積寺） 8月16日（海源寺）

大般若経修復の報告

令和2年7月から始まった大般若経イタリア普伝寺寄贈プロジェクトですが、ボロボロだった大般若経がきれいに修復されました。

主な補修作業の工程は、大般若経の継ぎ目をすべて剥がし、清掃し糊付けを一からやり直します。必要に応じて折目直しを行い、破損箇所や虫食い箇所の補修作業、更に裏打ち紙を全体に貼り付けます。最後に表題を新しいものに付け替えて完成です。その後サイズに合わせて経本を包む帙を新調し、その帙に合わせて収納箱を新調して修復完了となりました。

大般若経の今後

今冬、大般若経一巻一巻にご寄付をいただいた方々のお名前を書き込む作業を教区寺院で手分けして行います。

コロナウイルスが終息していれば、皆様にイタリア旅行のお誘いを既に行っているところかと思いますが、未だ世界的な流行は続いており旅行は延期とさせていただきます。教区寺院、檀信徒の皆様とイタリアの地へ赴き、寄贈した大般若経で大法要を現地僧侶と共に行うことがこの事業の終着点ですので、安全に渡航できる日を夢見て、準備を進めて参ります。

また、大般若法要の際に掲げる「釈迦十六善神図」を細谷義昭先生にご制作いただいております。



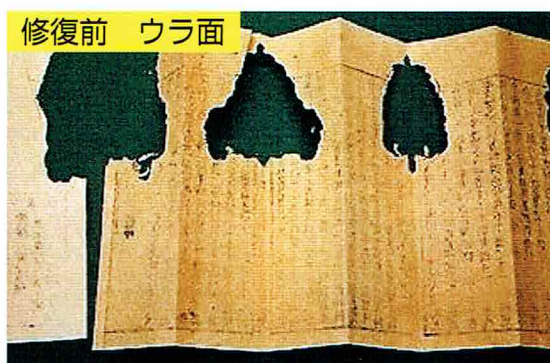
修復前



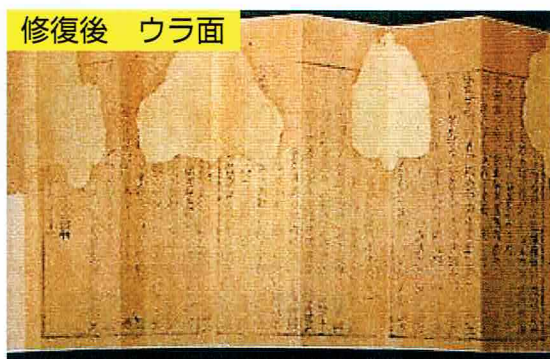
修復後



修復前 ウラ面



修復後 ウラ面



一期一会仏画展のご案内

日時：令和4年5月17日(火)～5月22日(日)

会場：富岡市立美術博物館

1F市民ギャラリー

仏画展の作品に左記「釈迦十六善神図」も展示される予定となっています。大般若経と共にイタリアへ渡り、寄贈される大作を是非ご覧ください。

興巖寺 寺族逝去

日時：令和3年2月9日(火) 葬儀 10時30分

2月3日に興巖寺寺族 中島良江様(世寿88歳)が逝去されました。葬儀は宝積寺西有孝裕老師がお勤めされ、しめやかに執り行われました。地元生まれ育ち、寺族として興巖寺を長年支えられました。



東北被災地支援活動

日時：令和3年7月15日(木)

宝林寺住職山崎英俊師によって岩手県陸前高田市の以前から交流のある方々へ支援物資が届けられました。コロナ禍のため、広く皆様方に呼びかけることができませんでしたが、支援物資は、山崎師が自ら段ボール等を集め続けそれを換金して購入したお米や、13教区内の数ヶ寺からのお米その他の食品・日用品などです。



神守寺住職 堀口智玄師就任

日時：令和3年10月17日(日)

富岡市宇田 神守寺において住職の代替わりにあたり、ご本尊様にその報告をする住職就任報告諷経と檀信徒の先祖供養がお勤めされました。神守寺ご本寺 最興寺 村上虎雄老師から住職辞令が堀口智玄師に手渡され、法要後は神守寺前住職堀口元澄老師より退任の挨拶がありました。そして、今後益々の山門繁栄並びに檀信徒の皆様の幸せのために尽力する決意のお言葉が述べられました。



13 教区 31 ヶ 寺院

富岡	菅蛇原	南高井	上下尾	下高田	上丹生	宇田	宮崎	宮崎	一ノ宮	一ノ宮	下高瀬	富岡	岡本	下田町	本宿	中坂	南牧村	檜沢	甘楽町	轟引	天幡	小幡	善慶寺	国峰	国峰	白倉	小川	秋畑	秋畑	小幡	天引	秋畑	高崎市	上奥平
	陽雲寺	最興寺	長寿寺	生壽寺	永隣寺	金乗寺	神守寺	桃林寺	永乘寺	三會寺	連珠寺	光嚴寺	海源寺	福壽院	長楽寺	延命寺	永昌寺	宝積寺	向陽寺	宝泉寺	福嚴寺	興善寺	長善寺	松泉寺	宝林寺	天徳寺	西光寺	松慶寺	寿福寺	泉龍寺	宗伝寺			